

発表

第14回日本ジオパーク全国大会下北大会
分科会で学習センターの活動を紹介



9月1日に、第14回日本ジオパーク全国大会下北大会の分科会「実験を活用したジオパーク教育の手法と活用」で、ジオパーク学習センターの実験例と活動を発表しました。分科会の世話人は林信太郎氏(秋田大学名誉教授)。実験ではジオパーク学習センターで主に小学校6年生向けに行っている火山噴火実験の1つを紹介しました。活動では、ジオパーク学習センターの教育支援の考え方や様々な実験・体験学習の目的と効果について発表しました。発表後、参加した多くの方からいろいろなご意見・ご感想をいただき、たいへん参考になりました。(写真:分科会で実験を紹介している様子)

防災学習

地震について実験や体験学習で実感
男鹿の地震の歴史や原因、対応策を学ぶ



先月、男鹿市内の小学校が来館、男鹿半島の地震の歴史や原因、対応策などを実験や体験学習を含めてじっくり学びました。学習では震度とマグニチュードの違い、津波と波浪の違い、地震発生の時間帯と被害の違いなども学びました。実験では地震の際の液状化現象実験、土地の固さの違いによる地震の揺れ実験、地震でライフラインが壊れた場合の体験学習も行いました。(写真:児童による地震の際の液状化現象実験)

理科の学習

「土地のつくりと変化」の学習支援
学習センターで学び、現地で実際に地層観察



来館する学校団体で最も利用が多いのが、理科「土地のつくりと変化」を教育目的とした小学6年生。男鹿半島の地層と日本列島のできかたを学んだ後、堆積岩の見分け方を学ぶ岩石標本観察や広域火山灰の顕微鏡観察、火山噴火実験で大地の動きや地層の見分け方を学びます。それを基に実際にジオサイト・安田(あんでん)海岸などの現地に出かけ地層観察を行っています。(写真:安田海岸で火山灰や断層などの観察を行っている様子)

草原を楽しむ

寒風山の半自然草原を楽しむことを教育目的とする学校も

男鹿半島の寒風山は「未来に残したい草原の里100選」に選定されています。寒風山の火山地形を学ぶとともに、この貴重な半自然草原を体験学習を通して楽しむことを希望する学校もあります。学習センターではこの教育目的に合わせ楽しく学べる体験学習を検討中です。(写真:寒風山で鳥のように羽ばたく紙飛行機)

